

## 「自分は一人ではない」

私はアメリカのテキサス州にある、Christ for the Nations Institute という聖書学校を春に無事卒業することが出来ました。この学校で生活する中、学びの中で私は多くのことを経験しました。特に何よりも私がこの3年間を通して学んだことは、今も生きて働かれる主が共にいることを経験したことです。日本には見えなかった視点、価値観、問題、多くのことが示されました。その中で、沢山の自分の至らなさや弱さが示され、主の前へ悔い改めに導かれ、心への砕きが与えられました。その度に、ただ私は自分の力ではどうしようもないことを学びました。聖霊様なしでは何も出来ない。ただ神様の恵みによって生かされていること。

その中で、何度も私は自分の人生について神様に祈りました。「私は何のために生きるのでしょうか。神様は私を通してこれから何がしたいのか。」

ある日、キャンパスの中にある24時間OPENの祈りの部屋で折っている時、神様は私に「ただあなたと一緒にいたい。あなたと働きたい。」と語られました。私が想像していた答えとは全然違いました。私は日本の働きのため、若者のため、そのような誰かのため、他のために神様は私を遣わそうとしていると感じていました。しかし神様がまず言われたのは、ただ私のためでした。その時、本当の意味で今までは経験したことなかった、神様との個人的な関係の中で祈り、賛美をしました。その中でひとつ御言葉が与えられました。

イザヤ書 6:8

「私は主が言われる声を聞いた。「だれを、わたしは遣わそう。だれが、われわれのために行くだろうか。」私は言った。「ここに私がおります。私を遣わしてください。」」

私は何のために生きていくかの理由を知りました。それは愛するイエス様のためです。とてもシンプルな答えですが、これに尽きます。イエス様が私をまず愛してくれた。だから私も、主の遣わす場所へ、主と共に進んでいきます。私に与えられている情熱は日本のリバイバルです。その場所で多くの魂が救われるために、私はただ神様の栄光をあらわすために出ていきます。

ただ主が私を通して、その計画を前進させて下さることを心から期待しています！

河島 稜

### 【ディボーション登録】

右のQRコードを読み込むとメールソフトが起動します。何も入力せずそのまま送信ください。毎日のディボーションが届きます。  
※ gmail などのフリーメールなどをオススメします。



祝福されますようにお祈り致します

金	土
澤佐千代 山秀平 25日 眞砂香和 25日 曾我佐知子 25日 神達良子	
天祈禱会 E 4 6:00~早天祈禱会 サミル日本宣教	5 15:00~じょいふるキッズ
天祈禱会 E 11	12 カラダンジョン
天祈禱会 E 18 6:00~早天祈禱会	19 野外活動 IN 別所小学校
天祈禱会 E 25 6:00~早天祈禱会	26 15:00~じょいふるキッズ てもて塾 岡本爽

### 来週の奉仕者 (8月6日)

- 司 会：日名 洋
- 代表 祈 禱：唯恵 伝道師
- 献 金：横山 栄子  
：a 高橋 奈津江
- 準備 賛 美：岡本 英樹
- アシスタント：眞砂 香和  
：高橋 司
- プ ロジ ェク ター：西寄 一喜
- ア ッ シ ャ ー：西寄 真由美  
：神達 良子
- 要 約 (次 週)：高橋 奈津江
- コ ー ム (次 週)：山本 洋子
- 聖 日 準 備：教会礼拝 & (消 毒) 地区チーム
- 食 事：各 自
- 片 付 け：各 自

# 「キリストの中で」

## ■ 神の計画と自分の計画

信仰の生活でいつも難しいことは、神様の計画と自分の計画がぶつかり合うときです。その時に私たちがしなければいけないのは、従う事です。私たちがするからではなく、神様がされるからできるのです。

## ■ 愛する為の条件

神様は私たちに家庭の中で、愛で結ばれ繋がっているような人生を過ごしてほしいと思っています。しかし壊れている家庭はその愛が正しく流れていかない、その愛が無い時、どれだけ苦しい心になるでしょう。どれだけさみしくなるでしょう。しかし愛がながれていかないのは、愛が分かっているから起こり、愛する方法が分かっているだけなのです。

### 【愛する為の条件】

#### ①無条件的な愛にならないといけない

愛しながら相手に何かを求め、その求めるものが満たされなければ、私たちは失望してしまいます。それによって、愛するという事を諦めてしまいます。

#### ②人の為に死を覚悟するもの

イエス様は私たちの為に死なれました。これは私たちが人の為に自分をもっとへりくだることです。アンダースタンド…理解する。理解することができないと私たちは誤解します。私たちが誤解してしまうのは、その人よりもへりくだっていないからです。理解をすれば、相手の傷が見え、相手が何を望むのかが見えてきます。

## ■ 愛して赦す

心の中に嫌いな人がいますか。自分を嫌いな人がいますか。私たちは許して愛さなければいけません。なぜなら、赦しは糧と共同体であり、みんながひとつになれるものなのです。しかし悪魔はそこに隔たりを起こします。心に誰かを嫌うような気持ちがあるのであれば、神様からきたものなのか？悪魔からきたものなのか？この嫌う心は神様は望まれていないこと！と信じ、嫌わない！と決断をしましょう。愛して赦すというのは、その決断の中に神様が一緒にいてくださるという事です。私たちの小さな従順が人生を大きく変え、許すことがどれだけ大事なものをかを経験する事ができます。

忍耐は聖書的にいうと、神様を見つめるという事です。問題が起きた時、問題をみるのではなく、神様を見ましょう。私たちは問題をみると、その問題の中にどんどん入っていきます。人を見ると人によっては誘惑を受けます。しかし神様を見ると、つらい時間を忍耐できるようになります。なぜなら神様が私たちに慰めてくれるからです。

## ■ 神様との関係

私たちの人生で一番大事なのは、神様との垂直的な関係です。しかし神様との関係が崩れた時、すべてはゼロになります。また水平的な関係とは、隣人を自分のように愛し、隣人に仕え、神様を愛して、仲間を愛することです。これがイエス様が私たちに与えてくださった新しい訓練なのです。このように教会はお互いを尊敬する心が大事、一つになることが大事なのです。一つの声・一つの心に聖霊の力が与えられます。しかし悪魔はお互いの心に誤解を与え、お互いの一致しないところを用いて分裂するようにしていきます。